

事業概要シート

施策 1102 消費者保護の推進

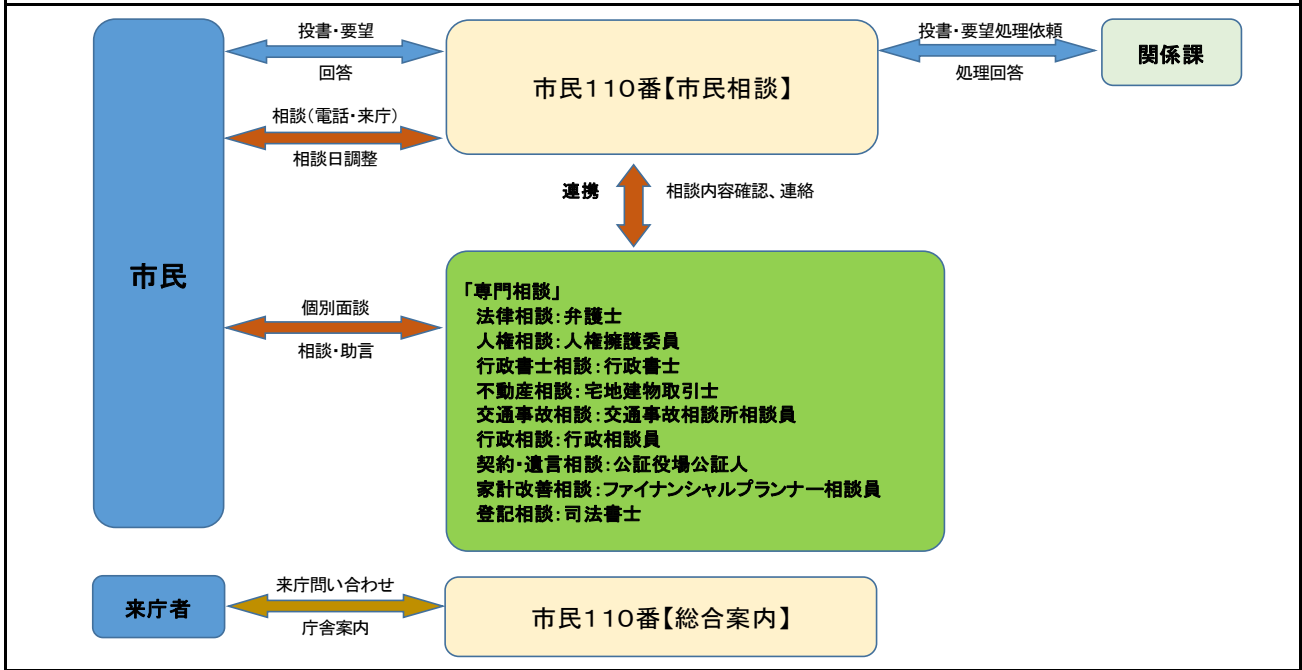
《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	市民生活相談事業	現状維持	予算額	7,473 千円
事業期間	~		《	7,199 》千円
根拠法令 要綱等		財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	7,473 千円

【事業の目的・概要・対象】

法律・行政・人権・交通事故・不動産・相続等で相談を希望する市民に対し、専門的な情報を提供し不安や悩みの解消を図る。

- ① 専門相談員（弁護士、行政書士、公証人、人権擁護委員、行政相談委員等）による定例相談受付
- ② 電話及び窓口での一般市民相談対応
- ③ 投書、電子メール等による要望等の処理
- ④ 庁舎入口案内所での庁舎案内



【背景】

社会環境の変化、情報の氾濫、自己主張の機会増加に伴い対応が難しい相談が増加している。

担当課	市民環境部地域げんき課（市民110番）	課長	久保 昭隆
担当者	山田 充江子	問合せ先	0957-53-4111（内線488）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	年間相談日数	計画値 日	243	242	243	243	243
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	相談者数	計画値 人	2097	2100	2100	2100	2100
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	6,008	6,736	7,199	7,473	7,473	7,473	42,362
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	6,008	6,736	7,199	7,473	7,473	7,473	42,362
人件費	5,818	5,818	5,838	5,838	5,838	5,838	34,986
職員(人)	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	4.80人
時間外勤務(h)			10h	10h	10h	10h	40h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	11,826	12,554	13,037	13,311	13,311	13,311	77,348

妥当性 (市の関与)	不安や悩みを抱えている市民に、気軽に無料で相談できる場を市が提供することは効果が高く妥当である。
有効性 (施策貢献度)	法律相談等の専門相談員による定例相談は、毎月開催しているが相談申込みや問い合わせも多く必要性が高い。
効率性 (コスト)	増加する市民の相談に適切に処理するためには、さらなる相談員を確保する必要がある。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり